

http://www.minamih.net/



11・9・19(月)
南NEWS NO34

行き帰りの安全確保を

一昨日、金曜日の午後練習をしている時です。由井三小の校長先生がいらっしゃって“子どもと大人の交通事故が相次いで近隣で発生し、迂回する車で混んでいるから子ども達に注意してください”とお話でした。すぐ子ども達を集めて、“帰りは車に気をつけて帰ること、交差点や道路を横断するときは、手を挙げて右観て左観てもう一度右を観て、運転手さんの目を見てから渡るようにしましょう”と話しました。昨日土曜日の練習でも再度、子ども達に話しました。練習や試合の行き帰りで、友達の家に行くときでも、絶対に怖くて悲しい事故は起こしてほしくありません。お家でもご指導お願いいたします。

駐車証の徹底をお願いします。

由井三小への送迎、その他の会場に車で行く時は必ず南の駐車証を車フロントガラスに提示してください。不審車両の進入を防ぐためです。由井三小の校長先生からも依頼されたことです。指導者用、保護者用があります。徹底をお願いします。



南のGAMBAのレポート

- 期日 2011年 9月 10日 (土)
- 会場 狭間グラウンド
- 大会名 1年生 白百合招待サッカー大会
- 対戦相手 富士見丘少年蹴球団(10分ハーフ)

○ めあての達成

☆チームのめあて
スピードのある守備と攻撃

☆達成度
攻撃から守備の切り替えが素早く出来なくて、後ろからボールを追ってしまうことが多かった

- コーチ所見 記入者名： 小笠原 教恭

試合結果： 0 vs 5 (0 vs 2)

試合中での井上君の声かけが常にあって、チームを盛り上げていました。山本君はドリブルからシュートをしていましたが、枠をとらえることが出来ませんでした。三宅君や山本君はランウィズザボールを使ったドリブルで一生懸命ボールを相手ゴールの方に持って行ってましたがシュートまでは出来ませんでした。守備では、切り替えが遅いこともあり得点を入れられましたが、三宅君の体を入れてボールを奪ったりし

- 対戦相手 ハリマオ(10分ハーフ)

- 得点者、アシスト、その経過

時間(分)	得点者	アシスト	その経過
12	前川 優真		ランウィズザボールを使ってドリブルシュート

- めあての達成

☆チームのめあて
スピードのある守備と攻撃

☆達成度
1戦目よりは攻守の切り替えが良くなったが、まだボールの後ろを追っていくだけになってしまい、守備が人任せになってしまうことが多い

- コーチ所見 記入者名： 小笠原 教恭

試合結果： 1 vs 1 (0 vs 1)

前川君、山本君や井上君がランウィズザボールを使ったドリブルで相手を振り切ろうとチャレンジしていた。三宅君や加々美君が相手の前を出てのディフェンスをしたり、チャンスがあるとシュートをしてゴールを狙っていた。佐藤さんもしっかり相手のボールを捕ろうとしていた。

- 対戦相手 杉野百草SC(10分ハーフ)

- 得点者、アシスト、その経過

時間(分)	得点者	アシスト	その経過
3	三宅 慈英		キーパーからのキックをカットしてシュート
6	前川 優真		キーパーからのキックをカットしてシュート
7	加々美 伸英		ランウィズザボールを使ったドリブルシュート
16	山本 達喜		相手をかわし左足シュート

- めあての達成

☆チームのめあて
スピードのある守備と攻撃

☆達成度
最終試合では、相手の動きに合わせずのびのびと動いてスピードのある攻撃ができて



- コーチ所見 記入者名： 小笠原 教恭

試合結果： 4 vs 0 (3 vs 0)

相手のパスをカットしてボールを奪ったり、ドリブルしている相手に体を入れてボールを奪ったりして、終止ボールをキープする場面が多く、前川君、山本君、三宅君や加々美君は果敢にゴールを狙っていた。本日の結果は、1勝2敗1分でした。

○ **対戦相手** 西砂青少年SC(10分ハーフ)

○ **めあての達成**

☆チームのめあて

スピードのある守備と攻撃

☆達成度

攻撃、守備と切り替えもしっかりできて、意識して行動する場面が増えた。でも後半は集中力が切れたらしく守備が遅くなってしまった。

○ **コーチ所見** 記入者名：小笠原 教恭

試合結果： 0 vs 3 (0 vs 0)

三宅君が果敢にゴールを決めようと相手のゴールキックをカットしてシュートしたりドリブルしている味方の後ろについてフォローをしていた。井上君や山本君もしっかりとドリブル味方の後ろについていきサポートしていた。前川君もシュートをしてゴールを果敢に狙っていました。

全文視写を毎日

昨日9月18日は柏木小で6年生の市内リーグ戦がありました。

校庭に入ると殿入FCの吉田レオ君が

「矢上先生、おはようございます」

と挨拶してくれました。吉田君は由井三小の5年生で村上先生のクラスで学び、南の子どもたちとも仲良しです。12Bトレセンのメンバーでもあります。

レオ君のお父さん(吉田 歩久斗君)は南のOBで8期生です。高校1年生の時、帝京高校の小沼監督が歩久斗君のプレーを観て、

「東京にこんな子がいたのか」

と悔しがったということです。素晴らしいドリブラーでした。数々の大会でチームを優勝に導いてくれました。

レオ君の試合を観ながら歩久斗お父さんは次のようなことを話してくれました。

「小学校時代、矢上先生にGAMBAノートに全文視写をやるように言われていたので、レオにもノート1ページ分の教科書全文視写をやらせています」

その話を聴いて、(私の思い・考えを息子にしっかり伝えてくれていたんだ)ととても嬉しくなりました。

レオ君にとっておじいさん・歩久斗君のお父さんは永年南のコーチとして活躍してくれた方です。3代にわたる絆を感じ、心がほんわり温かくなりました。GAMBAってきてよかったなと想いました。

レオ君に

「金曜日の午後練において、一緒に練習しようよ。お父さんがいいと言ってくれたから」

と伝えました。合同練習です。平山 悠里君と同じ私の孫、レオ君にもサッカーを教えたいのです。

南の子どもたちにもサッカーと勉強をGAMBAってほしいです。